

# 「足尾の山に100万本の木を植えよう！」 官民連携による緑化活動

## 特定非営利活動法人 足尾に緑を育てる会

栃木県日光市足尾町松木地内の松木山腹工では、煙害によって裸地化した渡良瀬川上流部の山々に山腹工を実施することにより、下流域における土砂災害を防いでいます。山腹基礎工上に植栽をすることによって早期の緑化を促し、山腹工としての機能をより発揮しています。

「足尾に緑を育てる会」は、渡良瀬川上流域足尾銅山周辺の荒廃地に緑を育てるため、渡良瀬川流域の5つの市民活動グループが事務局となり、発足したボランティア団体です。平成8年から、春の植樹デー、夏の草刈デー、秋の観察会、足尾グリーンフォーラムの実施、体験植樹型環境学習の指導等を行っており、

一般のボランティアを募り、植樹活動を行っています。官民連携の活動としては、行政にとっては植樹によって砂防施設の安全性が増すとともに経費削減効果や砂防事業のPR効果があり、会としては植樹場所の確保ができ、荒廃した足尾の緑化活動として強力なPRとなっています。

春の植樹デーは、平成25年には参加者1,350人で5,800本を植え、累計では、参加者約2万人で植樹本数は72,000本となっています。さらに、体験植樹も含めると、累計で約13万人が157,292本の苗木を植えたことになります。



砂防施設(山腹工)。ここにボランティアに呼びかけ植樹を実施。



夏の草刈りデー。植樹デー実施箇所の草刈りをボランティアが実施。



足尾グリーンフォーラム。今後の植樹活動のあり方についてのパネルディスカッション。



体験植樹。急斜面に子ども達が植樹。環境学習の一環でもあり需要拡大。



春の植樹デー。山腹工箇所に大勢の方が植樹。

- ◆所在地  
栃木県日光市足尾町松木地内
- ◆活動内容  
春の植樹デー(4月)、夏の草刈デー(7月)、秋の観察デー(11月)  
足尾グリーンフォーラム(8月)、体験植樹型環境学習(4~11月、  
約150団体)、作業デー(毎月第3土日曜日) など
- ◆活動主体及び連絡先  
特定非営利活動法人 足尾に緑を育てる会(0288-93-2180)
- ◆対象となる社会資本  
松木山腹工  
※管理者: 国土交通省渡良瀬川河川事務所(代表: 0284-73-5551)

